

別表「小布施町の景観と調和した屋根上太陽光設置方針」

1. 住宅要件

必須項目	景観形成基準		交付対象の有無
	屋根形状	勾配屋根（ただし、片流れを除く）	交付対象
		片流れ、段違い、陸屋根	交付対象外
	緑化	樹木2本以上若しくは道路沿いの生け垣(※1)ただし、景観形成重点地区においては敷地面積の15%以上の緑化	交付対象
芝生のみ、樹木の植栽なし		交付対象外	
協力項目 (※2)	景観形成基準		減額対象の有無
	屋根色彩	黒または濃灰色（原色は不可）	減額対象外
		その他	減額対象
	外壁色彩	土壁色、アイボリー、白	減額対象外
		黒(※3)、その他	減額対象
	屋根形状・勾配	屋根形状が切妻（寄棟・入母屋を含む）かつ勾配が3寸以上	減額対象外
		その他	減額対象
	軒の出	650mm以上	減額対象外
その他		減額対象	

※1 「小布施町生け垣づくりおよび緑化助成金交付要綱」に準じたものに限る。

※2 3項目以上を満たす場合満額補助、2項目以下を満たす場合減額。

※3 黒色については材質等も考慮し、住まいづくり相談で総合判断します。

2. 設備要件

景観形成基準	
モジュール色彩	太陽光発電システムを構成するモジュールの色彩は、周囲と調和した色彩とし、低明度かつ低彩度で目立たないものとするとともに、原則として、黒、濃灰色、濃紺、ダークブラウンの中から最も周囲と調和するものを選択すること。
モジュール素材	太陽光発電システムを構成するモジュールの素材は、低反射のもの（反射光を抑える処置がされたもの。以下同じ。）を選択すること。
モジュールデザイン	太陽光発電システムを構成するモジュールのデザインは、文字や絵、図等が描かれていない等、モジュール本体の模様ができるだけ目立たないものを選択すること。
フレーム色彩	太陽光発電システムを構成するモジュールのフレーム部分の色彩は、周囲から太陽光発電システムが見えないような措置等を行う場合を除き、モジュール色彩の景観形成基準同等のものとする。
フレーム素材	太陽光発電システムを構成するモジュールのフレーム部分の素材は、低反射のものを選択すること。

3. 設置要件

景観形成基準	
傾斜角度	太陽光発電システムは、設置する住宅の屋根と一体に見えるよう、できるだけ屋根面に密着させて設置すること。
高さ限度	太陽光発電システムは、設置する住宅の棟を超えないものとする。